

福沢小学校 学校だより

# まなびや



平成  
28年  
10月

## フレッツ、フレッツ 6年生！ 南足柄市小学校陸上大会 10/20(木)

於：南足柄市総合グラウンド 【予備日 21日(金)】

秋は本格化しても、リオデジャネイロオリンピック、パラリンピックの興奮は、まだ冷めやらぬようです。オリンピック精神の“参加することに意義がある”という言葉は、本当に頑張った人に対してだけ称えられる賛辞なのです。自分で自信を持って「頑張った」と言えるよう、また周囲の誰からも「頑張ったね」と認めてもらえるよう、チャレンジし続けてください。6年生には、スポーツを通じて、望ましい姿勢や態度を下級生に示してくれることも期待しています。

9月に入って間もなく、陸上大会へ向け練習を始めました。少し早く登校し、福沢小グラウンドで自主練習に励む姿をしばしば見かけました。教職員のコーチによる、朝練習にも取り組み、技術や理論の指導やチェック、競技の実際演習に汗を流しています。

10月4日(火)には、神奈川県下にも名を馳せている足柄台中学校陸上部員の先輩たちに、技術的な手ほどきを受けました。13日(木)には、同じ足柄台中学校区の向田小学校へ出向き、合同練習を行い、モチベーションを高めて本番へ臨みます。

競技者はもちろん、指導や気配りをしてくださった方々、応援してくれた人々等、スポーツはさまざまな人たちへ、感動や興奮、勇気、エネルギー等を与えてくれるものだと思います。

6年生一人ひとりの活躍に期待し、エールを送り続けています。



## 9/13(火) 学校保健委員会開催

☆感染症等の予防には、ドアノブ、つり革、手すり、共用物等を使用後の頻繁な手洗い

が効果的

☆効果的な手洗い時間は 20秒以上!



- ・福沢小学校の現状として、80%以上の児童が、家に帰ったときや遊んだ後など、意識して、きちんと手洗いを行っています。
- ・しかし、多くの児童の手洗い時間は、残念ながら現在「10秒以内」であり、おなじみの曲の一番を口ずさみながら、20秒以上の時間をかけるのがよいです。



「『福沢っ子は 今』～健康第一！手洗いマスターへ～」と題して、今年度の学校保健委員会を開催しました。

当日は、6年生児童をはじめ、PTA会員の方々からも10名を超える参加を賜り、木屋養護教諭からのアンケート結果を受けた提案、教職員も交えたグループディスカッションを行いました。

最後に、毎年お世話になっている、渡辺 美恵子 学校薬剤士から、

「清潔さを保つには、いつも複数枚のハンカチやタオルを用意しておき、常にきれいなものを使うように心がけるのも、衛生的には優れた方法ですね。」という、お話をいただきました。

インフルエンザなどが流行ってくる頃には意識も高まるのですが、ふだんから行っている手洗いなどの徹底も図りたいですね。やるならとことん!!

**手洗い後の乾燥は、摩擦があると、一層効果的！**  
**自然乾燥やハンドドライヤーより、ハンカチやペーパータオルによる水分除去が衛生的だそうです。**



夏休み明けから、福沢地区内での交通事故が頻発しています。歩行時はもちろん、自転車の乗り方や安全な走行、ヘルメットの着用等について、学校でも指導を継続していますが、御家庭や地区でも再確認・御指導をお願いします。

## 芸術の域まで挑戦！ 4年生 ～「音楽会」「美術展」「1/2 成人式」に向けて

### 「手のひらをかざして」(合唱) 「情熱大陸」(合奏)



芸術の秋にふさわしく、南足柄市内小学校の音楽会、1/2 成人式が、10/14 (金) 9:50 より、金太郎みらいホールの大ホールにて開催されます。南足柄市広報等でも御存知でしょうが、南足柄市民文化祭の一環としても行われます。

芸術文化は、“人々に感動や生きる喜びをもたらして人生を豊かにするものであると同時に、社会全体を活性化する上で大きな力となるものである。”と定義されています。

娯楽はその場の楽しみで終わってしまいますが、芸術文化は、長い時間を経て蓄積され今のものであり、さらに今後へと引き継がれていきます。合唱や合奏も、今回の音楽会へ向け協力・協働した取組みを、今後の様々な機会に生きることでしょう。練習も本番も、同じ時間を共有した経験から、今後に向け、大きな希望と深い思考や造詣を養えるよう期待しています。

小学校も後半の学年です。“子どもでない自分”に目覚める機会となるのではないのでしょうか。



## 9/20 (火) 朝会 坂口 和樹 教諭よりお話



「自分のふるさとのいいところを、たくさん見つけてください！」というアドバイスで締めくくられました。将来、「南足柄」や「福沢」を紹介するときに、福沢っ子たちは、どのような自慢話をするのでしょうか？

坂口教諭が生まれ育った北海道について、「見渡す限りの畑や牧場」「広い大地を一直線に続く道路」「旅先に現れた野生のテン」「海の中の岩風呂温泉」等の写真を提示しながら、自然の美しさや懐の深さ、その恵みなど、北海道の素晴らしさを熱く紹介してくれました。

児童たちが最も印象に残った話は、「北海道の学校給食では、超有名な高級アイスクリーム（110mlのミニカップで小売価格が¥250 を超えるような類のもの）が、デザートとして出るときがある。」ことではないでしょうか。製品の原材料（牛乳）の供給を担っている、北海道ならではの、自慢の給食メニューですね。故郷・北海道の自然の恩恵を大きく感じながら、現在頑張っている異郷の地・神奈川でも、たくさんの「よさ」を発見し続ける、坂口教諭のまじめで前向きな生き方を感じたひとときでした。

教職員の間でも、遠くや近くのふるさとの自慢話は、よく飛び交っています。故郷を離れて活躍した岩手県出身の歌人・石川啄木は、



“ふるさとの山に向 (むか) ひて

言ふことなし

ふるさとの山はありがたきかな”



と詠んでいます。（「ふるさと」を「(南)足柄」や「福沢」など、日本全国どこに置き換えても納得できそうですね。）

冬の積雪はほとんど無い神奈川県西部の南足柄市福沢地区ですが、田圃の様子や用水路の水流、あぜ道や農道に咲く植物、箱根山や足柄平野周辺の風景から四季を感じ取れる場所であり自慢は充分にできると思います。

地区の特色を探検するのに、秋はふさわしいシーズンなのかもしれません。話題や知識を発見したり再確認したりできるよう、学びを深めたい気持ちにさせてもらえました。

## 季節のたより

2000 (平成 12) 年 まで 10 月 10 日は「体育の日」でした。1964 (昭和 39) 年に開催された東京オリンピックの開会式が 10 月 10 日であったことを記念し、「スポーツに親しみ、健康な心身を培う」目的で、1966 (昭和 41) 年から祝日となりました。“10 月 10 日は晴れの特異日だから……”という説は、どうやら違っており、10 月自体が比較的天候の安定してくる季節なので、語呂合わせのよい 10 月 10 日を開会式に設定したようです。

例年、体育の日には、「出雲全日本大学選抜駅伝競走」が開催されますが、引き続き 10 月 15 日 (土) には、お正月恒例の「第 93 回東京箱根間往復大学駅伝競走」の「予選会」も開催されます。“秋の日は釣瓶落とし”ということわざのごとく、2016 年も確実に進み、秋もふけていくのを感じています。秋来たりなば冬遠からじ といったところでしょうか。(担当)

